

朝の時間帯の駅無人化撤回をJR千葉支社に要請

JR千葉支社が2月3日から、総武線の「下総中山駅」「東船橋駅」「幕張本郷駅」の3駅で、朝の時間帯に駅員を配置しない無人化を実施しました。

昨年度までに実施されている「新検見川駅」「西千葉駅」「検見川浜駅」「市川塩浜駅」「俣新町駅」「千葉みなと駅」

障害者への対応策を検討せず

JRでは「トラブルが起き

たときにはインターホンで管理駅（今回実施した3駅は「船橋駅」と話をして解決できる」としていますが、聴覚障害者への対応を聞いたところ、「やりとりは難しい」と答え

エスカレーターも朝7時まで動かす

線路への転落事故についても、管理駅では検知できないことがわかり、事故への対応にも不安を残しています。また、駅の無人化によって

日本共産党県議団が県民の暮らし第一に予算組み替えを提案

日本共産党千葉県議団が、千葉県の来年度予算にたいして、組み替え提案をまとめました。千葉県の来年度一般会計予算は1兆728億円。この中には暮らしを支える上で必要なものが入っていないかったり、県民生活からみて無

〔2018年度県予算にたいする組み換え案〕	
増額するもの	増額分
子ども医療費助成の通院を中学3年まで拡大（現在県制度は小学3年まで）	31・0
重度心身障害者医療費助成で医療機関の窓口払い完全無料化	3・4
特別養護老人ホーム建設補助を要介護3～5の独居世帯と要介護5の高齢世帯の待機者分（1599床）を増額	72・0
介護施設職員の給与引き上げ（全600施設×200万円）	12・0
小学4年と中学3年で新たに35人学級を実施	11・4
私立学校の施設整備費負担を免除（年収250万円未満世帯対象）	11・6
定時制高校の給食を継続	1・0
合計	142・4
減額するもの	減額分
大型道路ネットワーク事業30カ所新規着手を見直し	5・0
外環道・圏央道・北千葉道路の先送り	52・2
港湾の巨大化事業関連を圧縮	1・6
金田西・つくばエクスプレス沿線などの土地地区画整理事業を圧縮・先送り	27・8
ハッ場ダム（治水分）を先送り	16・0
土地改良事業の一部先送り	31・3
農地集積加速化促進事業の圧縮・見直し	0・6
企業立地補助金新規分削減	5・9
鶴舞桜ヶ丘高校統合の凍結	1・6
県立図書館統廃合計画中止	0・1
議員の海外視察中止	0・3
合計	142・4

（数字は億円）

JR千葉支社に要請書をわたす（右から）坂井洋介船橋市議、佐々木友樹千葉市議、丸山慎一県議、斉藤和子前衆院議員
2月7日・JR千葉支社



参加者はJRへの要請のあ

今後の無人化の計画については「来年以降は未定」と答え、さらに拡大する可能性をにじませました。駅無人化の利用者への周知についてJR側は、「駅の貼り紙だけでホームページには掲載していない。県や市への告知もやっていない」と回答。周知については「検討したい」と述べました。

朝の時間帯が無人になった東船橋駅の現場を調査
2月7日・東船橋駅



〔朝の時間帯の無人化で想定される問題点〕
事故が起きた際に対応が遅れる
トラブル処理も駅員が到着するまで待たなければならない
車椅子での乗車で駅員の介添えは前日までに連絡が必要
聴覚障害者はインターホンが使えないのに対策なし
告知が貼り紙だけでホームページへの記載も無い
朝、駅員が来るまでエスカレーターが動かない

と、あらためて東船橋駅の様子を見に行きましたが、駅員のいない時間帯にはエスカレーターが止まることが判明。これでは、ますます利用しづらくなります。